



2023 JJA
JEWELLERY
DESIGN AWARDS



会期/会場

2023年8月30日～9月1日

ジャパンジュエリーフェア 2023 (JJF2023)
東京ビッグサイト 東5・6 ホール
アワード入賞作品展示会場
[展示作品] 全入賞作品

2023年9月14日～10月9日

山梨ジュエリーミュージアム 企画展示室
[展示作品] 全入賞作品

主催
後援

一般社団法人 日本ジュエリー協会
経済産業省
厚生労働省
文化庁
東京都
山梨県
台東区

協賛

日本貿易振興機構 (ジェトロ)
日本商工会議所
読売新聞社
公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会
一般社団法人 日本真珠振興会
ブラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社

日本のジュエリーの可能性を求めて

JJAジュエリーデザインアワード2023

JJAジュエリーデザインアワードは、日本で最も権威あるジュエリーコンペティションとして、グランプリ・内閣総理大臣賞受賞作品を筆頭に、デザイナー・クラフトマンの才能を国内外へと発信していく場です。

日本には美しい文化と伝統を背景に、高い技術力とデザイン力を誇る数多くのクリエイターが存在します。本アワードは、未来のジュエリー業界を牽引する、新しい可能性を持つクリエイターの優れた作品を広く募集し、日本のジュエリーの可能性を求め続けます。

本アワードは二部門で構成されています。第1部門「プロフェッショナル部門」ではデザイン・技術・品質を兼ね備え、創造性豊かな芸術性・ファッション性の高いジュエリーであるか、第2部門「新人部門」では、新人・学生を対象に新人らしいフレッシュな感性より創造された芸術性・ファッション性の高いジュエリーであるかを審査の基準としています。

今年度はジャパンジュエリーフェアで全入賞作品を展示し、グランプリ・準グランプリ受賞作品をファッション誌『VOGUE JAPAN』10月号(9月1日(金) 発売予定) 見開き2ページ・公式Webサイト(9月1日(金)～)にタイアップ記事を掲載いたします。

また、今秋にBS12でタイアップ番組を放送予定です。

ご挨拶



一般社団法人
日本ジュエリー協会 会長
長堀 慶太
Nagahori Keita

一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本のジュエリーの発展とクリエイターの才能を国内外に発信することを目的に「JJAジュエリーデザインアワード」を実施しております。このアワードは当初（第1回1989年）より数えますと第25回となり極めて歴史あるコンペティションです。

今年度も内閣総理大臣・ジュエリー議員連盟・経済産業省・厚生労働省・文化庁・東京都・山梨県・台東区・日本貿易振興機構・日本商工会議所・読売新聞社と多方面からのご支援をいただきました。

本アワードは、美しい文化と伝統を背景に、高い技術力とデザイン力を誇る我が国において、芸術性・ファッション性の高い優れたジュエリーを求めることで、未来のジュエリー業界を担う新人発掘の場ともなっています。

今回も第1部門「プロフェッショナル部門」、第2部門「新人部門」の2つの部門を設け、全国から151点79作品と多くの応募をいただきました。第1部門においては、大きさや豪華さととらわれないよう、「ハイエンド・ラグジュアリー」「アクセシブル・ラグジュアリー」の2つのテーマを設定したことで、デザイン・技術・品質を兼ね備えた創造性豊かな作品の増加に寄与しています。この作品の中から、各審査員の厳しい審査のもと「グランプリ・内閣総理大臣賞」「準グランプリ・経済産業大臣賞」「準グランプリ・厚生労働大臣賞」「東京都知事賞」「山梨県知事賞」「台東区長賞」「日本商工会議所会頭賞」「新人大賞」をはじめとした各賞が選ばれました。

今年度も、技術力の高さはもちろんのこと、斬新な表現の作品が多く出品されました。これまで同様、各方面でご活躍の方々に作品審査をお願いしたことに加え、ゲスト審査員として『VOGUE JAPAN』編集部の方々にも参加していただきました。それぞれの視点で「ファッションとしてのジュエリー」「時代を反映したジュエリー」「身に着ける人を高揚させるジュエリー」など、高度なレベルで真摯に審査いただき深く感謝しております。一般社団法人日本ジュエリー協会は、これからも時流の変化に即応し、日本における最高峰のジュエリーコンテストとして、デザインアワードのさらなる発展を目指してまいります。

審査員 講評



東京藝術大学 名誉教授
山梨県立宝石美術専門学校 校長
飯野 一朗
Iino Ichiro

2021年のアワードから隔年開催となり本年第25回展を迎えました。未だコロナ禍の名残、地金高騰等の悪条件が続いているため、応募数は少し減りましたが、熱意ある作品が集まりました。

グランプリを受賞したリングはファッション性に富み、指先から手首までのラインに華やかな広がりを見せています。準グランプリ・厚生労働大臣賞／ゲスト審査員賞のパームカフは、腕の動きに応じて可動部分が軽やかに動き、装着性も良く、今までに無かった要素を取り入れた作品です。新人大賞は2作品の選出となりました。それぞれの持ち味が高く評価された結果で、2作品の同時受賞は初めての事となります。

次世代を担う新人部門は、素晴らしい可能性を秘めています。新人を卒業された方々は、ジュエリーの新しい提案、完成度を高め、第1部門での新たな展開、活躍を期待します。



『VOGUE JAPAN』
編集部

ジュエリーはファッションの一部であると同時に、人種や年齢、体型を問わずその魅力を楽しむという普遍性、また長い年月をかけて価値が継承されるという資産性において、ファッション以上にユニバーサルで、エターナルな存在です。今回発表された作品たちはいずれも、作り手の方達のエモーションが込められた力作ばかり。中でも目を引いたのは、大ぶりのルベライトを主役にしたパームカフ。手の甲を覆う大胆なデザインでありながら、立体的な地金の造形は極めて精巧。手の動きに合わせてしなやかに動く構造だけでなく、扇状のパーツには裏表どちらからもダイヤモンドが見えるようセットされているなど、着用した時のアティテュードまで想定されている点が見事です。日本が誇る高い技術、そして世界で戦えるデザイン性を持った作り手を、『ヴォーグ ジャパン』では引き続き応援していきたいと思っています。



プロダクトデザイナー
柴田 文江
Shibata Fumie

本年度はじめてJJAジュエリーデザインアワードの審査会に参加させていただきましたが、エントリー作品のテーマやモチーフが多岐に渡り非常に楽しく拝見させていただきました。

中でもグランプリに選出された作品の表現力と醸し出すイメージの豊かさには圧倒され、素材の魅力や技術の巧みさはもちろんのことながら、それらを一つの世界観として伝えるデザインの力には目を見張りました。また若いデザイナーの方々の作品には、今の時代らしい個性的な表現がいくつもあり、これからのジュエリーデザインの可能性を感じました。最近では「デザインは色やカタチではない」というような言葉をよく耳にしますが、今回の審査会でやはりフォルムや色使いによるモノの魅力に触れ、私自身の制作活動にも大きな刺激をいただくことができました。最後に私のような専門外の意見でもオープンなディスカッションを行なっていただき、本審査会の公正さに感謝いたします。



株式会社細尾 代表取締役社長
細尾 真孝
Hosoo Masataka

今回はじめてJJAジュエリーデザインアワード審査会への参加となりました。

ジュエリーの起源は新石器時代に遡ると言われ、人類の歴史と共に進化してきました。

私は普段、織物の世界に携わっておりますが、今回、西陣織の伝統と、ジュエリーデザインとの間に共通する面を見つけることができました。それは、過去の技術と知識を尊重しながらも、現代の感覚、創造性を表現に活かす姿勢です。

ジュエリーデザインアワードのエントリー作品の中には、伝統的な技術を用いながらも、全く新しい視点からアプローチしている作品が多く見受けられました。また革新性ととも、作品それぞれが持つ物語性や、身につける人への配慮も感じ取ることができました。

審査員として、作品の新たな視点やアイデア、物語性、そして職人技を評価するのは大変楽しく、これらの作品を通じてジュエリーデザインの世界に深く触れることができました。このような機会をいただき、心より感謝申し上げます。

審査員 講評



全日本貴金属技能士会連合会 会長
卓越した技能者（現代の名工）

坂元 亞郎

Sakamoto Tsugio

今回アワードの審査を仰せ付けられ、大きな責任を感じました。日本ジュエリーが良質で美しい生活を求めて、かたちと美と機能のたぐい稀な作品が生み出されている現在、アワードのお手伝いが出来れば幸いです。応募作品151点の中からひときわ輝く星が見つけられますように、整然と並べられた作品を見て、ゆっくり会場を一巡し、印象に残ったものを一応念頭に入れました。審査は中盤に差し掛かり、審査員長の飯野先生は作品の細部に渡る調査を終え、次に作品の展示角度や位置を変えてみたり、モデルに装着してフィット感を調べたりしました。この様子を他の委員たちも熱心に見ていました。受賞作品の決定は、各自に渡された定数の丸いチップを、これはと思う作品の前に並べて、その数で受賞作が決定されました。この方法は公平だとおもいます。私は今回の中で、新人部門の作品の中に優秀で将来に希望の持てるものを見付けました。有能な後進達に十分な仕事がゆき渡るよう祈りました。



ジュエリークラフトマン
卓越した技能者（現代の名工）

土屋 昌明

Tsuchiya Masaaki

今回で3回目の審査員を務めさせていただきました。審査会場に入り作品に囲まれると緊張感と期待感が高まりますが、見回したところ前回より作品数が少し減少した感じで、これもコロナウイルスの影響かと思えます。まずは、プロフェッショナル（第1部門）から一点一点手を取り審査を進めます。ジュエリーとして大切な『装着性』も確認し総合的に判断し審査・評価をしました。

次に新人部門（第2部門）に移りフレッシュな作品を期待して審査に入りました。毎回新人部門はジュエリーデザインの新しい領域と思える作品が多く出品されます。今回も素材の使い方、アワードの規定を守ったうえで尚かつ常識に囚われず自由な表現をされていたことが印象的でした。残念なところは、素材自体を使い慣れていないためなのか、テクニックの部分で苦労したであろうと思われる箇所が少し目についたことです。しかしながらアワードでのチャレンジは更なる飛躍につながると期待しております。



公益社団法人
日本ジュエリーデザイナー協会 会長
長井 豊
Nagai Yutaka

私は今までジュエリーの審査員を何度か経験して来ましたが今回初めてJJAアワードの審査員を務めさせて頂き改めてこのアワードの持つ意義に触れることが出来たと思っています。

どのような審査会であっても順位をつけるのは容易ではありません。このアワードはその基本方法として着想、デザイン、技術の3項目の総合得点で入賞を決めて行きます。

しかしながら全ての項目が高得点の正三角形の優等生がそのまま残るかと言えばそうとも限らず、そこが審査の面白いところでもあります。

時としてインパクトのある作品はどこかに偏っている事もあり、逆にバランス良く表現された時には印象が薄くなってしまう場合もあるからです。今回私は日本ジュエリーデザイナー協会会長賞として新人大賞の中のお一人に決定させて頂きました。

自分の考えを無理なく素直に持てる技術で形にした好感の持てる作品だと思います。

まだまだ小さな三角形ですがこの先どのような大きな三角形になるかが楽しみです。



ジュエリーデザイナー
小寺 智子
Kodera Tomoko

これまで私はデザイナーとしてアワードに応募する側でしたが、この度初めて審査員を務めさせて頂きました。正直なところ、この審査会がこんなにも白熱し緊張を強いられるものだとは思っていませんでした。全応募作品一つ一つに込められたデザイナー、クラフトマンの方々の情熱を感じながら丁寧に審査させて頂きました。審査の票が割れた時などは、それぞれ意見を述べ合い異論の検証もなされました。私の審査ポイントは、心に響くコンセプトとデザイン力、そして加工技術がそれらを十分に表現しているかどうかでした。最終審査の結果、Dandelion Fluff ～平和と挑戦～ という作品がグランプリを受賞され大変納得しております。入賞された方々には、未来のジュエリー業界を牽引する活躍を期待します。また、今回、惜しくも賞を逃した方々もどうぞ自信を持って、次回の挑戦に力を蓄えてください。楽しみにしています。

審査員一覧 (敬称略)

審査員長	飯野 一郎	東京藝術大学 名誉教授 / 山梨県立宝石美術専門学校 校長
ゲスト審査員	『VOGUE JAPAN』編集部	
審査員	柴田 文江	プロダクトデザイナー
審査員	細尾 真孝	株式会社細尾 代表取締役社長
審査員	坂元 亞郎	全日本貴金属技能士会連合会 会長 卓越した技能者 (現代の名工)
審査員	土屋 昌明	ジュエリークラフトマン 卓越した技能者 (現代の名工)
審査員	長井 豊	公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会 会長
審査員	小寺 智子	ジュエリーデザイナー
特別賞選定員	長井 豊	公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会 会長
特別賞選定員	金子 康男	一般社団法人日本真珠振興会 理事
特別賞選定員	ハンキンソン 尚子	プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社 代表取締役社長

応募作品・点数

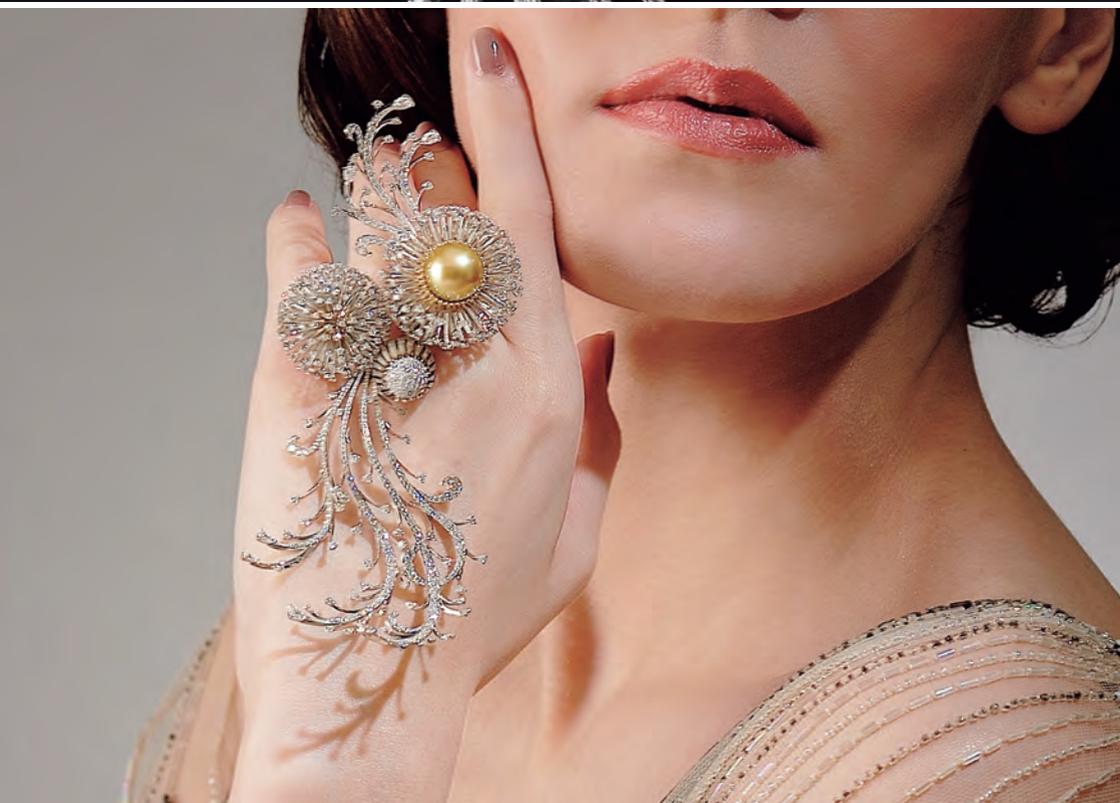
第1部門	「プロフェッショナル部門」		
	テーマA：ハイエンド・ラグジュアリー	23作品	37点
	テーマB：アクセシブル・ラグジュアリー (上質な日常使い)	18作品	31点
第2部門	「新人部門」	38作品	83点
合計		79作品	151点
入賞作品		19作品	43点

*作品情報の見方…アイテム／素材（品位）／主要石／補助石／テーマ（第1部門のみ）

グランプリ・内閣総理大臣賞
準グランプリ・経済産業大臣賞
準グランプリ・厚生労働大臣賞
東京都知事賞
山梨県知事賞
台東区長賞
日本商工会議所会頭賞







グランプリ・内閣総理大臣賞

Grand Prize and Prime Minister's Award

「Dandelion fluff ～平和と挑戦～」

【製作者】株式会社ナガホリ アトリエ・ド・モバラ 【応募者】株式会社ナガホリ



デザイナー

渡部 笑美

Watanabe Emi

平和で思いやりにあふれた世界になることを願い、パールを地球、ダイヤをあしらった綿毛一つ一つをヒトに見立てることで人類は地球から生まれ落ちた家族である事を表し綿毛が遠くへ飛んでいくように私達も世界に大きく羽ばたき挑戦しようとの願いを込めました。

リングは手の甲に添うよう可動させ着け心地にもこだわりました。

2004年 株式会社ナガホリ アトリエ・ド・モバラ 入社



バングル/K18YG・K18PG・K18WG/ダイヤモンド/テーマA



準グランプリ・経済産業大臣賞

Semi-Grand Prize and Economy, Trade and Industry Minister's Award

「別世界」

[製作者/応募者] アンブローズアンドカンパニー 株式会社



デザイナー

堀内 信之

Horiuchi Nobuyuki

[E-mail]

n-horiuchi@ambrose.co.jp

思い出は日常の中の別世界。ジュエリーはその瞬間に溢れています。

私の大切な思い出のジャイブールをモチーフに、進化する技法への挑戦とステイトメント性を表現し、K18を布の様に柔らかく軽やかに使い、ジャケットとの組み合わせや、しなやかなスリープレスドレスとのコントラストが美しい姿を想像しながら創り上げました。

1967年 山梨県甲府市生まれ

1991年 G.I.A. G.G. 取得

1992年 JJAジュエリーコンテスト'92 工芸部門 佳作



パームカフ/Pt950・Pt850/ルベライト/ダイヤモンド・ルビー /テーマA



準グランプリ・厚生労働大臣賞／ゲスト審査員賞

Semi-Grand Prize and Health, Labour and Welfare Minister's Award / Guest Judge's Award

「Fuchsia」

[製作者] 宮田 悠貴・原田 雅洋 [応募者] 株式会社桑山



デザイナー

佐藤 麻央

Sato Mao

[E-mail]

ma-sato@kuwayama.co.jp

ジュエリーは身に纏うファッションアイテムであるという考えのもと、新たなジュエリーの可能性に正面から立ち向かい生まれた作品です。

まるで手首に纏うドレスのようなデザインは、手の動きに合わせて一瞬で姿が大きく変わります。

思わず魅入ってしまうような意外性のある動きと、仕草の美しさを引き立てるデザインを模索し、作り手の強い信念と細やかな技術によって実現しました。

1998年 東京都生まれ
2017年 東京都立工芸高等学校 アートクラフト科 卒業
2020年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業
2020年 株式会社桑山 入社



リングセット/Pt900・K18/シロチョウ真珠・クロチョウ真珠/タンザナイト・ダイヤモンド/テーマB

東京都知事賞

Governor of Tokyo Award



デザイナー

田中 紀久

Tanaka Norihisa

[E-mail]

tanaka@atelier-gemcraft.com

「公孫樹」

[製作者] 田中 紀久

近年、国内外で悲しい出来事が多く続いています。辛い思いをされた方々へ鎮魂という花言葉を持つイチヨウの葉をモチーフにデザインしました。広島では被爆したイチヨウの樹が今も力強く生き続いています。優しい気持ちと力強く生きるという両面を作品に込めて作り上げました。

1967年 静岡県袋井市生まれ
2000年 JJAジュエリーコンテスト 東京都知事賞
2014年 JJAジュエリーデザインアワード 佳作/技術賞
2015年 JJAジュエリーデザインアワード 優秀賞
(他入選多数)



バングル・リングセット/Pt900・K18・黒色ロジウムめっき/ブラック・ダイヤモンド/ダイヤモンド/テーマA

山梨県知事賞

Governor of Yamanashi Award



デザイナー

加藤 かおる

Kato Kaoru

[E-mail]

nakazawa@orient4cs.co.jp

「舞翔 BUSYOU」

[製作者] 株式会社オリエント4C's 種邑 弥・永元 敬吾

株式会社ダイアート三枝 壺屋 孝昭

[応募者] 株式会社オリエント4C's・株式会社ダイアート三枝

あらゆる既成概念が変化する現代に、狭義の枠から舞い立ち

新時代を生きるイメージを蜻蛉の羽で表現しました。

鑑賞も楽しめる自立構造で、装飾品とオブジェの概念に囚われない事と、性別の枠を超えたユニセクスの雰囲気をも大切にデザインしました。

1990年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業

1994年 PLATINUM DESIGN OF THE YEAR 部門賞受賞



リング/Pt950/テーマB

台東区長賞／プラチナ・ギルド・インターナショナル賞

Mayor of Taito City Award / Platinum Guild International Award



デザイナー

長田 怜子 (写真・プロフィール)

遠藤 太一

Osada Reiko・Endo Taichi

[E-mail]

rosada@kohsai-qq.co.jp

「dazzle of Tokyo」

[製作者] 田村 剛也・遠藤 太一 [応募者] 株式会社光・彩

上空から俯瞰し眺める、東京都心の街の景色。

夕日を浴びて夜の街に移りゆく瞬間の、幻想的な煌めき。

建物が削り出す、点と線と面、複雑な光の陰影。

そんな美しさを作品に落とし込みました。

職人の手業と、当社独自の鍛造製法の融合。

地金の神秘的な美しさを最大限に引き立たせるために、プラチナのみで構成しました。

2014年 武蔵野美術大学 造形学部油絵学科 卒業

2016年 山梨県立宝石美術専門学校 卒業



リング/K18・Pt900/ダイヤモンド/テーマB

日本商工会議所会頭賞

Chairman of the Japan Chamber of Commerce and Industry Award

「源氏物語 末摘花」

【製作者】多田 孝之 【応募者】多田商店



デザイナー

山中 千里

Yamanaka Chisato

あでやかな花々の章から成る源氏物語にあって、ひときわ一途で健気な末摘花。

蝶が朗らかに恋を楽しみ、花は静かに愛を育む。うたかた、幻夢抱影というワンシーンをイメージした作品です。

1962年 大阪府生まれ

2018年 JJAジュエリーデザインアワード 入選

2019年 JJAジュエリーデザインアワード 日本商工会議所会頭賞/ゲスト審査員賞



ネックレス・リング・イヤリングセット/K18・Pt900・赤銅/アコヤ真珠/
ダイヤモンド/テーマ

日本真珠振興会会長賞

Japan Pearl Promotion Society President Award

「希望の明日へ」

[製作者] 佐野 恒則・井上 陽介

[応募者] 株式会社新川

平和のシンボル『折鶴』と、二度と繰り返さない意
の『水引』、希望の明日を『和』の世界で表現しま
した。

～広島から世界へ～

デザイナー

三沢 美恵子

Misawa Mieko

[E-mail]

hamalave@gmail.com



ブローチ/SV925/CZ



新人大賞

New Talent Grand Award



デザイナー

森野 溪登

Morino Keito

[E-mail]

2001keito0101@gmail.com

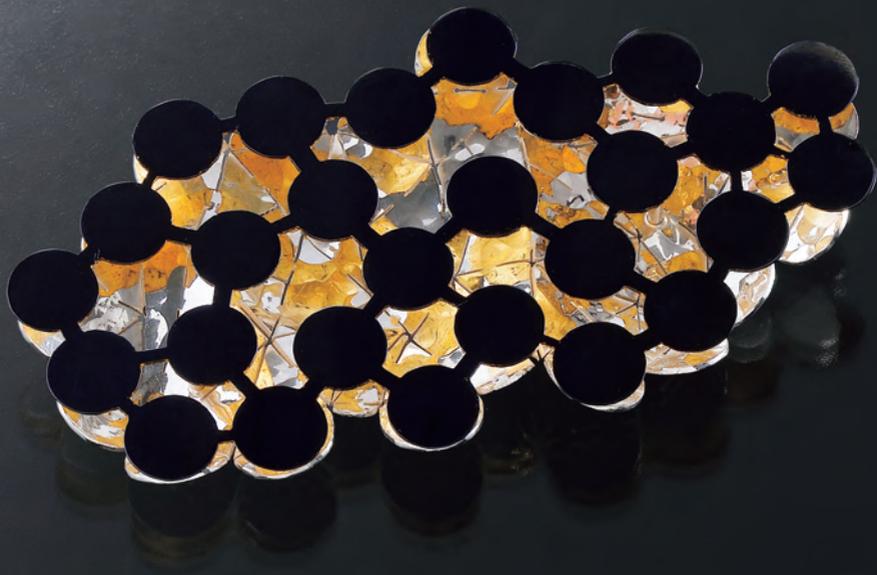
「なかみ」

[製作者] 森野 溪登

本作品は、人間の皮膚の下にある“なかみ”を作っている記憶の集まりのような、なにか小さなものの集合体を形にしています。

彫り留めによるパヴェセッティングをメインに、地金を吹くところから完成まで、全て手作業にこだわって制作しました。大小様々な石をランダムに配置し、小さなものが密集している様子を表現しました。

2001年 京都府生まれ
2019年 京都市立銅駝美術工芸高等学校 卒業
2022年 山梨県立宝石美術専門学校 卒業
2023年 金沢卯辰山工芸工房 研修中 2年目



ブローチ/SV950・赤銅・金箔



新人大賞／日本ジュエリーデザイナー協会会長賞

New Talent Grand Award / Japan Jewellery Designers Association President Award

「薄明光線」

[製作者] 柴田 千耀



デザイナー

柴田 千耀

Shibata Kazuki

[E-mail]

kazuki.s.sen@gmail.com

気象現象の一つである「薄明光線（天使の梯子）」をイメージし、雲間から差し込む幾筋もの光線を感じられるようデザインしました。黒く青みがかった赤銅の裏側に金箔を貼り、奥に広がるSILVERに反射させることによって奥行きのある光を創り出し、「薄明光線」の情景を表現しています。

2001年 東京都生まれ

2023年 武蔵野美術大学 造形学部 工芸工業デザイン学科 在学中



リングセット/SV925・アルミニウム・漆・着色銀粉・K18YG・K10YG/CZ・クォーツ/CZ



デザイナー

金 男珠

Kim Namju

[E-mail]

n3namju@gmail.com

新人優秀賞／ジュエリー議員連盟賞

Award of Excellence for New Talent Prize /
Parliamentary Association for Jewellery Award

「錯覚」

[製作者] 金 男珠

温暖化により温かくなった海中で、白化し、死んでいく珊瑚が、最後の手段としてネオン色に変色することで自らを守ろうとすると聞きました。このように、一見美しく見える事象の裏に、実は全く異なる真実が隠されていることがあります。艶やかな珊瑚と、その周りを漂う死の香りを、蒔絵やアルマイト等で表現しました。

2022年 日本七宝作家協会国際展 佳作

2023年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業



リングセット/SV925/ホワイト・カルセドニー



デザイナー

KOIZUMI KANA

[E-mail]

kana7nanana@gmail.com

新人優秀賞

Award of Excellence for New Talent Prize

「SOU」

[製作者] KOIZUMI KANA

あなたとの出会いはまるで夢のよう。シンプルな色の中に温かみのあるフォルムと大きさとで情熱的な愛を表現したマリッジリング。華やかなオーラを纏う時代に色褪せないデザインに。現代のさまざまな結婚の形がある中で性の枠を感じさせないリングに致しました。人が手と手を取り合っている様にも見えるこの形は日本のkawaii文化や異文化の彫刻のようなアーティシーな雰囲気との融合を意識。多様な考えを知り、受け入れ、それぞれがそれぞれを大切にできれば。私はジュエリーというかたちから自分自身とまずはあなたに寄りそいたい。

1999年 山梨県生まれ

2021年 山梨県立宝石美術専門学校 卒業

2021年 JJAジュエリーデザインアワード2021 新人部門 入選

2023年 coconogacco



ブローチセット/K10YG・SV925/クォーツ

入選

Nominated

「brooch pin」

[製作者] 谷戸 星香

付属的な金具を意匠の起点に、存在感がありながらも全体に溶け込む曖昧さを持つピンが付むブローチです。

デザイナー

谷戸 星香

Tanido Seika

[E-mail]

seika-th@outlook.jp



バングル・ブローチ・ピアセット/SV925・銅・真鍮・洋白・金めっき

入選

Nominated

「女王蜂」

[製作者] 山田 明

スズメバチの巣を象嵌を用いて表現。

身に着ける人が巣の主、女王蜂の気分になれるようなジュエリー。

デザイナー

山田 明

Yamada Aki



ブローチセット/七宝・SV・銅

入選

Nominated

「Passing season」

〔製作者〕 清宮 百穂

うつろいゆく日本の四季の中でみえる一時の色や光や曖昧な空気感を、花に見立てた装身具に閉じ込めました。

デザイナー

清宮 百穂

Seimiya Momoho

〔E-mail〕

smomomoho@gmail.com



ネックレス・リング・ピアセット/SV925・アルミニウム・磁石

入選

Nominated

「neo」

〔製作者〕 Yoshioka Yuki

金属=重く固い。先入観があるほど感触に驚きます。視覚と触覚のギャップを表現した新感覚ジュエリーです。

デザイナー

Yoshioka Yuki

〔E-mail〕

yoshiokayuki714@gmail.com



ブローチセット/木・SV・合成漆・卵殻

入選

Nominated

「REM」

[製作者] 杉浦 朋華

夢から覚めた瞬間の虚しさや、初めから存在しないものを失い切なさを感じる不毛さをモチーフにしました。

デザイナー

杉浦 朋華

Sugiura Tomoka

[E-mail]

tomoka.s.works@gmail.com



ペンダント・ブローチセット/純銀・K18・革ひも・SV970

入選

Nominated

「Fidget」

[製作者] 呂 贇蛟

私は植物をモチーフとし、直接手で触れて実感する触り心地を通じて、よろこびを感じられるような作品の可能性を追求する。

デザイナー

呂 贇蛟

Lyu Yunjiao

[E-mail]

yunjiaolyu@gmail.com



ブローチ・リングセット/SV925・純金/淡水パール

入選

Nominated

「白夜 (WHITE NIGHT)」

[製作者] 方 笑晗

夜明け前に咲く花と月の純粹さに感心して作品を作りました。

デザイナー

方 笑晗

Fang Xiaohan

[E-mail]

hou_syoukan@yahoo.com

一般社団法人 日本ジュエリー協会

会 長 長堀 慶太

活性化部会

部会長 今西 信隆

デザインアワード委員会

委員長 青木 千秋

副委員長 日笠 祐二

委 員 飯田 孝子

田中 由美

西田 良洋

松井 久子

検査員

宝石検査 井口 孔仁

小関 美香子

中尾 直

藤田 健

技術検査 飯田 敏夫

岡内 太郎

小池 浄

坂巻 章雄

薬師寺 智子

吉澤 崇幸

編 集 一般社団法人 日本ジュエリー協会 デザインアワード委員会

撮 影 Studio A-Vipc

印 刷 山口北州印刷株式会社

発行日 2023年8月30日

発 行 一般社団法人 日本ジュエリー協会

〒110-8626 東京都台東区東上野2-23-25

TEL (03) 3835-8567 FAX (03) 3839-6599

<https://jja.ne.jp/> E-mail:ja@jja.ne.jp

禁無断転載複写



一般社団法人日本ジュエリー協会